



Vol. 23 No. 2 (No. 281) 2013. 7. 26

東洋英和女学院大学図書館

読書は好きですか？

小・中学校では「朝読」という、授業の始まる前の何分間か読書の時間を設ける指導を行っています。また、セミナーとして「読書法」という講座もあり、多くの社会人が受講しています。

読書は老若男女、誰でもができる生涯学習であると思います。

多読、精読、パラレル読み(複数の本を同時に)など、読書法と言ってもいろいろとあります。

今回は、この「読書法」についてお二人の先生に伺ってみました。

今までの、読書法をちょっと変えてみるだけで、もしかしたら、もっと本が読みたくなるかもしれません。夏期休暇のチャンスを生かして、この夏、何冊かチャレンジしてみてもはどうでしょうか。



## 私の読書法 —やり方は試行錯誤しながらできていく—

長谷川 明弘

今はインターネットの普及で知りたい情報はコンピュータを通じて知る事ができます。けれども30年ほど前となる私が子どもの頃、市内にある図書館や書店が、私にとって知りたいことが手に入る「夢の場所」でした。ある時期は親にねだって毎週のように連れて行ってもらいました。小学校高学年になってからは夏休みに友達と自転車に乗ってちょっとした冒険に行く気持ちで市内の図書館に行って冷房の効いた館内で過ごしていました。

今回「読書法」についての原稿依頼がありました。一言で言うてしまえば、「貴方の読書法を作って欲しい」ということで終わってしまうので、これではこの文章を読んだ貴方も(規定文字数の依頼を受けた私も)とても困ります。とはいえ、いきなり自分のやり方を確立することはできるものではありません。どんなやり方でも個人の試行錯誤の中から生み出されるものだと考えます。これから紹介するのは今の私のやり方であって今後変わっていくかもしれません。ところで、今、貴方はどこでこの文章を読んでいますか？ 図書館でしょうか、移動途中でしょうか、自室でしょうか……。

私は、本稿を色々な場所で書き進め、最終稿を自室で書いています。

さて、私のカバンの中には、最低2冊の書籍や文献が入っています。一つは、小説のような簡単に読める内容の書籍ともう1つは、専門書や論文です。いずれも通勤途中に読みます。

小説は、最初から頁をめくって読みます。本当にそれだけです。通勤時間に楽しみながら時に味わいながら読んでいただけます。時に気に入った表現があれば、付箋をつけることがあります。

専門書は、通勤途中や研究室、自室、立ち寄った落ち着く場所で読みます。「目次」、「序文」や「あとがき」をみて、読みたい箇所を絞ってそこを中心に読み広げて、時に深めていく感じです。場合によってはさらに最初と最後の章を加えて読むことをして、全ての頁に目を通すことは必要ないと割り切っています。大学生の頃は専門書でも小説のように最初から読んでいました。今は、重要な文献と時間に少しゆとりがあるときしか最初から順番に読むことはしません。

特に専門書に関しては、今の読書法に至るまで、どんな読み方をしているのか先生に尋ねたり、読書法に関する書籍を読んだりして、自分なりの読書法を模索しました。以前と違って、情報が手軽に膨大に入手できる時代だからこそ、適切な情報を集め(付箋を貼ったり、自分のものならば書き込んだりして)、自分の中で加工してまとめることが大切になってきます(この作業にはパソコンやスマートフォンや手書きのノートを使います)。さらには数年前から電子書籍が注目されていますので、私たちには新しい読書法が求められてきます。

今度は、貴方のやり方を私にも教えてください。また「どうやって本を読んでいますか?」と身近な人と話題にしてみてもはどうでしょうか。

(はせがわ あきひろ：人間科学科准教授)



## 読書法あれこれ

長谷川 かおり

楽しみのために読む本は、小説、詩です。こういうものは、特に方法を考えず、好きな部屋着に着替えて気持ちの良いソファで読みます。経済学の研究のために読む文献は、1) 何度も「使う」という感じで読み込むもの、2) さっとトピックを確認するためにアブストラクトを読む、3) 主張の証明法を確認するために証明法をチェックする、4) ほぼデータだけ把握する、の4種類です。

分野は違うけれど、読んでおきたい本は、音楽評論・舞踊評論や自然科学などです。音楽評論を読むと、当然ながら関連する音楽を聴きたくなりますし、自然科学のものは、教養だけでなく本業の研究のヒントにもなるので、メモをとります。

集めている本は、料理本です。流行りのものよりも、以前刊行されて評判の良いものや、作り方に納得する「名作」を集めています。そして、読まずともその味が再現できるまでキッチンで使い倒します！

料理本以外は、簡単な読書ノートをつけています。研究のための文献についても、一般の読書についても同じようにノートをつけ、研究については、別途テーマ別でまとめ直します。一般の本の読書ノートは、1年間の記録にもなるので、モレスキンの黒い手帳に年度別に整理しています。

詩を読むときは、必ず音読をします。すると次にその詩を目にしたときに、頭の中でちゃんと音が鳴ります。音読は、外国語の習得にもお勧めです。黙読だけで外国語の勉強をすると、文章の持つ息遣いやニュアンスが分かりません。少し遠回りのようですが、外国語の新聞や小説を、日本語の発音でなく、その言語の発音やアクセントに近く読めるようになると、不思議と黙読でもすんなり外国語のまま文章が意味をなします。

学生時代は、本当に文献に書いてあることが読めているのか、わかっているのか自信が持てませんでした。日本語や英語で書いてあるので、辞書があれば「読める」ことは読めるのですが、文章や本を構成しているロジックが読み込めているか、何度も読んで考えました。これは、文学でも、研究用の本でも、同じでした。この訓練をするには、古典と呼ばれる本や学術論文を読み込むことを、友人や先生とゼミや読書会でなさんとよいと思います。ほんの少しずつしか進みませんが、この精読ができるるとどんなジャンルでも速読が自然にできるようになります。

時間のある学生時代に、精読と音読を繰り返すことお勧めします！

(はせがわ かおり：国際社会学科准教授)

### 図書館からのお知らせ

大学図書館は 8 月 8 日(木)から 20 日(火)まで一斉閉館します。また開館時間が変更になりますので、ホームページ、掲示でご確認ください。

夏休み中には以下のような作業をおこなう予定ですので、9 月の授業がはじまったらどこが変わったか、ぜひ見に来てください。

◎夏休み中に図書館の OPAC(蔵書検索用)のパソコンを新しくします。

◎iPad(タブレット端末)を 8 台導入します。

カウンターで貸し出しますので、図書館内でご利用ください。

◎ノートパソコンが少ないという声にお応えて、地下1階アルファウイングに現在 15 台設置しているレポート作成用パソコンを 20 台に増やします。

また1階のレファレンスカウンター前のコーナーに、デスクトップパソコンを 5 台新たに設置しますのでご利用ください。

◎1階と地下2階に合計3台設置してあるコピー機をリニューアルします。

◎入館ゲート前のスペースを模様替えして、展示コーナーを設けます。おススメの本や、テーマ毎に特集を組んで展示を行う予定です。ご期待ください。



# 図書館に 本が並ぶまで

東洋英和女学院大学図書館には、約 27 万冊の本が所蔵されています。

OPAC で本を検索したことはありますか？

「所在」という部分に、その本の居場所が記されています。

今回は、その本たちが書架に並ぶまでを紹介します。

## 選書(一般図書・AV 資料など)

- ◆ 先生方、図書館が行う他、利用者のリクエストによって、購入する本が選ばれます。
- ◆ 年間約 5,600 件(2012 年度)を購入しています。この他、寄贈された本もあります。

## 選書(雑誌)

- ◆ 雑誌は継続で購入しているので、新規購入の場合は検討するため決定までに時間がかかります。
- ◆ 新しく継続してほしい雑誌は、マイライブラリから申し込み可能です。
- ◆ 約 5 年に 1 回、利用調査を行い見直しをしています。

## 受入

- ◆ 納品された本は「検収」という落丁乱丁調べや、価格のチェックをします。
- ◆ 蔵書印、ナンバリングを押します。
- ◆ 資料 ID のバーコードラベルを貼付します。
- ◆ コンピューターにデータを入力します。

## 受入

- ◆ 納品された雑誌も「検収」を行います。
- ◆ 蔵書印、浮き出しプレスを押します。
- ◆ 新着雑誌は貸出をしないので、資料 ID はありません。(製本すると貸出できます。)
- ◆ コンピューターに巻号のデータを入力します。

## OPAC

所在に「大学準備中」と表示されます。

## OPAC

最新号の所蔵年・巻号が表示されます。

## 整理

- ◆ 本の住所(請求記号)を決めます。  
日本の多くの図書館が採用している「日本十進分類法(NDC)」と呼ばれる方法に基づいて行います。
- ◆ 登録することで、OPAC で検索した際に、ヒットするようにしています。

## OPAC

備考に「作業中:カウンターへ」と表示されます。  
利用したい場合は、カウンターにご相談ください。  
※購入希望を出したものは、貸出状況欄に「保留中」と表示されます。

## 装備

- ◆ たくさんの方が利用するものなので、補強します。(ブックカバーをとめる、コーティングするなど)
- ◆ 請求記号ラベル(本の住所)を貼付します。
- ◆ 利用開始日のデータを入力します。

## 利用可能

## 配架

- ◆ 新着棚(入館ゲート入って右側) 2 週間に 1 回、入れ替えをしています。
- ◆ シリーズの本、参考図書は、すぐに所在場所に配架します。
- ◆ ゼミ選書は、1Fレファレンスカウンター前のコーナーに配架します。
- ◆ 購入希望の本は、カウンターに2週間、取り置きます。

## 配架

- ◆ 雑誌は速報重視のため、すぐに配架します。
- ◆ 時事、就活、女性関連など、興味深い記事がある3誌を選んで、新着コーナー脇の掲示版に目次情報を週がわりで掲示しています。

## 編集後記

1 冊の本が図書館の書架に並ぶまで、多くの方が関わっています。

1 冊、1 冊、とても大事なものです。

どうぞ、手にとってたくさん利用してください。  
(返却期限を守って、大事にしてくださいね。)

編集担当: 杉森

